

設計内容説明書(省エネルギー性)

[第一面]

建築物エネルギー消費性能基準用 ZEH基準(フラット35S(ZEH))用
一戸建て用(第一面)

フラット35S(ZEH)の設計検査を申請する場合(BELS評価書を提出する場合を除く)は、本書式をご利用ください。

建築物の名称:

地域区分:

1.外皮性能に関する基準

☐ 標準計算法(評価対象住戸の外皮面積を計算した上で外皮平均熱貫流率等を算出し、基準の適否を判断する方法)
☐ 簡易計算法(評価対象住戸の外皮面積を計算せずに外皮平均熱貫流率等を算出し、基準の適否を判断する方法) ※ZEH基準の場合は選択不可
☐ 仕様基準(断熱材等の仕様により、基準の適否を判断する方法)

確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認
	項	目	設計内容	
標準計算法による場合	外皮平均熱貫流率		外皮平均熱貫流率UA ($W/m^2\cdot K$)	☐ 計算書 ☐ 仕上表
	平均日射熱取得率		冷房期の平均日射熱取得率 η_{AC} () 暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH} [参考] ()	☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐
	結露の発生防止対策		☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等の場合) ☐ 設置 ☐ 省略	
	仕様基準による場合	躯体の断熱性能等	☐ 熱貫流率の基準に適合 ☐ 断熱材の熱抵抗の基準に適合	☐ 仕様書 ☐ 仕上表
		開口部の緩和措置	☐ 開口部の緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)	☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐
	躯体の断熱性能等	断熱材の仕様	屋根 () 天井 () 壁 () 床 外気に接する部分 () その他の部分 () 土間床等の外周部 外気に接する部分 () その他の部分 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐
		結露の発生防止対策	☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等の場合) ☐ 設置 ☐ 省略	
	開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性能	建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 () () () () () ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐
		窓・ドア等の日射遮蔽措置	方 位 ガラスの日射侵入率等 ひさし・軒・付属部材等 () () () () () () () () () () () () () () () ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐
	熱橋部の断熱補強対策(RC造等において熱橋部がある場合に限る。)		・ 構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ () 補強範囲(mm)	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐

注1) 太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の検査において変更することができます。
注2) 書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合は、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。

設計内容説明書(省エネルギー性)

[第二面]

建築物エネルギー消費性能基準用
ZEH(フラット35S(ZEH))基準用
一戸建て用(第二面)

2.一次エネルギー消費量に関する基準

- ☐ 標準計算法(評価対象住戸の外表面積を用いて算出した外皮平均熱貫流率等により、設計一次エネルギー消費量を計算し、基準の適否を判断する方法)
- ☐ 簡易計算法①(評価対象住戸の外表面積を用いず算出した外皮平均熱貫流率等により、設計一次エネルギー消費量を計算し、基準の適否を判断する方法)
- ☐ 簡易計算法②(簡易計算シートにより一次エネルギー消費性能のポイントを計算し、基準の適否を判断する方法)※ZEH基準の場合は選択不可
- ☐ 仕様基準(設備機器等の仕様により、基準の適否を判断する方法)※『ZEH』及びNearly ZEHの場合は選択不可

確認項目	設計内容説明欄				設計内容		
	項	目	設計内容	記載図書		確認	
標準計算法による場合	基本事項等	面積等	・床面積の合計	(webプログラム出力票による。)	☐ 面積表	☐ 適	
			・主たる居室の面積	(webプログラム出力票による。)	☐ 平面図	☐ 不適	
		・その他の居室の面積	(webプログラム出力票による。)	☐			
		年間日射地域区分	☐ 太陽光発電又は太陽熱利用給湯設備を採用： ・年間日射地域区分	(webプログラム出力票による。)	☐ 計算書	☐ 適	
		通風利用	☐ 通風を利用 ・換気回数	(webプログラム出力票による。)	☐ 仕上表	☐ 不適	
		蓄熱利用	☐ 蓄熱を利用 ・暖房期日射地域区分	()	☐ 平面図		
		床下換気	☐ 床下空間を経由して外気を導入する換気方式の利用あり ・外気が経由する床面積割合及び床下空間の断熱	(webプログラム出力票による。)	☐ 短計図		
		設備機器に係る概要	暖房設備	・運転方式及び設備仕様	(webプログラム出力票による。)	☐ 平面図	☐ 適
			冷房設備	・運転方式及び設備仕様	(webプログラム出力票による。)	☐ 設備機器仕上表	☐ 不適
			換気設備	・設備仕様及び換気回数	(webプログラム出力票による。)	☐ 計算書	
	☐ 熱交換換気設備を採用 ・熱交換換気設備の仕様・性能			(webプログラム出力票による。)	☐ 平面図	☐ 適	
	給湯設備		・設備仕様	(webプログラム出力票による。)	☐ 設備機器仕上表	☐ 不適	
	☐ 配管がヘッダー工法であり、分岐する全ての配管の呼び径が13A以下 ・2バルブ水栓以外を採用 └─ ☐ 台所水栓 (webプログラム出力票による。) └─ ☐ 浴室シャワー水栓 (webプログラム出力票による。) └─ ☐ 洗面水栓 (webプログラム出力票による。) ☐ 高断熱浴槽を採用		☐ 平面図	☐ 設備機器仕上表	☐ 不適		
	照明設備	・設備仕様	(webプログラム出力票による。)	☐ 平面図	☐ 適		
	その他	☐ 多灯分散照明方式を採用 ☐ 調光制御を採用 【主たる居室】 【その他の居室】 【非居室】 ☐ 人感センサーを採用	☐ 設備機器仕上表	☐	☐ 不適		
	計算結果等	省エネ基準 ※フラット35S (ZEH) 以外の場合	☐ 太陽光発電を採用 仕様等 (webプログラム出力票による。)	☐ 平面図	☐ 適		
			☐ 太陽熱利用設備を採用 仕様等 (webプログラム出力票による。)	☐ 設備機器仕上表	☐ 不適		
			☐ コージェネレーション設備を採用 仕様等 (webプログラム出力票による。)	☐			
	省エネ基準 ※フラット35S (ZEH) の場合 (ZEH Orientedは記載不要)	・設計一次エネルギー消費量 (webプログラム出力票による。) GJ/年	☐ 計算書	☐ 適			
・基準一次エネルギー消費量 (webプログラム出力票による。) GJ/年		☐	☐ 不適				
・再生可能エネルギー等を除いた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) (webプログラム出力票による。) GJ/年		☐ 計算書	☐ 適				
・再生可能エネルギー等を除いた基準一次エネルギー消費量 (その他除く) (webプログラム出力票による。) GJ/年		☐	☐ 不適				
省エネ基準 ※フラット35S (ZEH) の場合 (ZEH Orientedは記載不要)	・再生可能エネルギー等を加えた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) (計算書による。) GJ/年	☐ 計算書	☐ 適				
	・再生可能エネルギー等を加えた一次エネルギー消費削減量 (その他除く) (計算書による。) GJ/年	☐	☐ 不適				
	・再生可能エネルギー等を加えた設計一次エネルギー消費量 (その他除く) の基準一次エネルギー消費量 (その他除く) からの削減率 (計算書による。) %	☐					
簡易計算法②による場合	設備機器に係る概要	暖房設備	・暖房設備の種類 (1〜7地域)	(簡易計算シートによる。)	☐ 平面図	☐ 適	
		冷房設備	・冷房設備の種類 (8地域)	(簡易計算シートによる。)	☐ 設備機器仕上表	☐ 不適	
		換気設備	・換気設備の種類 (全地域)	(簡易計算シートによる。)	☐		
		給湯設備	・給湯設備の種類 (全地域)	(簡易計算シートによる。)			
		照明設備	・照明設備の種類 (全地域)	(簡易計算シートによる。)			
仕様基準による場合	設備機器に係る概要	暖房設備	暖房方式	()	☐ 平面図	☐ 適	
			【主たる居室】 設備仕様 () 効率等 ()	☐ 設備機器仕上表	☐ 不適		
			【その他の居室】 設備仕様 () 効率等 ()	☐			
			【その他省エネ措置 (住戸全体を暖房する場合)】 ☐ VAV方式を採用 ☐ 全てのダクトが断熱区画内にある 【その他省エネ措置 (パネルラジエーターで暖房する場合)】 ☐ 配管に断熱被覆あり				
		冷房設備	冷房方式	()			
			【主たる居室】 設備仕様 () 効率等 ()				
			【その他の居室】 設備仕様 () 効率等 ()				
		換気設備	換気設備の方式 ()	☐ 平面図	☐ 適		
			比消費電力 () 換気回数 () 回/h ☐ 熱交換型換気を採用 【その他省エネ措置 (熱交換換気を採用する場合等)】 ☐ 内径75mm以上のダクト及び直流電動機を採用 ☐ 有効換気量率が0.8以上 ☐ 温度交換効率率が70%以上	☐ 設備機器仕上表	☐ 不適		
		給湯設備	給湯熱源機の種類 ()	☐ 平面図	☐ 適		
効率等 () ふろ機能 () 【その他省エネ措置】 ☐ 配管がヘッダー工法であり、分岐する全ての配管の呼び径が13A以下 ☐ 浴室シャワー水栓に手元止水機構及び小流量吐水機構あり ☐ 高断熱浴槽を採用	☐ 設備機器仕上表		☐ 不適				
照明設備	【主たる居室】 ☐ 白熱灯あり ☐ 白熱灯無し ☐ LED	☐ 平面図	☐ 適				
	【その他の居室】 ☐ 白熱灯あり ☐ 白熱灯無し ☐ LED 【非居室】 ☐ 白熱灯あり ☐ 白熱灯無し ☐ LED	☐ 設備機器仕上表	☐ 不適				

注1) 表中の「webプログラム出力票」とは、『住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム(国立研究開発法人建築研究所)』による一次エネルギー消費量計算結果に関する出力票を示します。「webプログラム出力票」がある場合、設計内容説明欄における設計内容の記載を省略することができます。

注2) 表中の「簡易計算シート」とは、独立行政法人建築研究所が公開している『戸建住宅簡易計算シート』(試行版を除きます。)を示します。

注3) 太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の検査において変更することができます。

注4) 書式内の欄に記載事項がない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合は、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。